作成	照合	承認		整理番号	1
鹿野	TEL STATE OF THE S	守	納入仕様書	2102-101c	9
品名	表面取付	(c 変 更)	,		
	地絡過官	電圧・道	逆電力継電器	令和4年3月30日	
形式 -	TRG-DV40			(復帰値の誤記修正)	

1. 適用範囲

本仕様書は、6.6kV または 3.3kV 高圧受変電設備の一次側における地絡事故電圧、及び系統への逆電力を検出して警報出力を行う、表面取付形地絡過電圧 (OVGR)・逆電力(RPR)継電器に関するものである。

本器は太陽光発電設備等パワーコンディショナ(PCS)を用いた分散電源の系統連系設備に必要な地絡過電圧継電器、逆電力継電器、および系統連系規定において商用電源使用時に求められる、停電発生時に必要な保護継電器動作の停電補償バックアップ機能を有している。

2. 特徵

- ①表面取付形(ネジ取付、又は DIN レール取付)です。これにより、既設キュービクルへの増設取付において、盤工事の手間とコストを大幅に削減できます。
- ②自家消費型太陽光発電設備に必要な保護継電器(OVGR,RPR)機能と、系統連系規定で停電時の動作に要求される電源バックアップ機能を一体化しております。
- ③逆電力継電器(RPR)の電流入力は、盤内既設CTの二次側配線に加工工事無しで直接クランプ取付可能なクランプCT方式です。
- ④保護継電器出力は、OVGR/RPRが独立したC接点出力(1 a + 1 b)となっております。パワーコンディショナ仕様に沿った接点の接続選択が可能です。
- ⑤豊富な自己診断機能により継電器の運転信頼性の向上を図りました。

3. 定格

(1)組合世零相基準入力装置: ZPD-2形(泰和電気製) 定格完全地絡零相電圧: 3,810V(系統電圧6.6kV)

(2) 電流入力

クランプCT: CA-7(同梱)

定格電流 : СТ一次 АС5А

本器組合せ時の定格消費VA:1VA以下

☆既設CT(CT二次定格電流AC5A)の2次線にクランプ接続

(3) 電圧入力

定格電圧 : VT二次 AC110V

本器の定格消費 VA: 1 VA以下

- (4) 定格周波数 : 50/60Hz切換(ディップスイッチ設定)
- (5)制御電源電圧:AC/DC110V共用

2102-101c

	C
	ē

			9
項目	仕	様	
形式	T R G - D V 4 0		
取付方式	表面取付(ネジ又は35	mm 幅 I EC規格DINレー/	レ取付)
準用規格	JIS C 4612 高圧受電	電用地絡方向継電器	
制御電源電圧範囲	AC85-126.5	V 、 D C 7 5 - 1 4 3 V #	月
周波数	50/60Hz切替((ディップスイッチ設定)	
使用温度範囲	-2 0 ~+6 0 °C		
停電後の動作補償時間	5 秒以上(制御電源 A o	C 8 5 V 以上よりの停電時) *1
保存温度範囲	-2 0 ~+7 0 °C		
組合せ零相基準入力装置	形式: Z P D - 2 形 ((別 売)	
完全地絡零相1次電圧	3,810V(系統電	I圧 6.6 k V)	
組合せクランプCT	形式: CA-7(同梱)	1 次 定 格 電 流 A C 5 A * 5	2
クランプ C T	形式: C A - 7 - L 🗆 (5		m/20m)
2次接続電線		項の2)、4)項参照下さ	
		A C 2 k V 1 分間	
耐電圧	電気回路相互間	AC2kV 1分間	
	リレー出力接点間	AC1kV 1分間	
	電気回路一括対地間 D) С 5 0 0 V メガ 1 0 M Ω D	1 上
絶縁抵抗	電気回路相互間 D) С 5 0 0 V メガ 1 0 M Q D	以上 しょうしょく
	リレー出力接点間 D) С 5 0 0 V メガ 1 0 M Q D	1.上
7 +	リレーロックDI入力	(*RPR、OVGR 各々 1)	点)
入力	電圧入力:入力電圧 A	. C / D C 1 1 0 V 共用	
接地絡過電圧リレー用	無電圧1 c 接点(手動	1/自動復帰選択)	
点 逆電カリレー用	無電圧1c接点(手動		
出表置異常警報用	無電圧1 b 接点(常時		
カー	・出力は常時「開」、』	異常時・停電時「閉」)	
表 LED表示	RUN、リレー動作、リ	レーロック入力	
示 マグサイン動作表示	OVGR, RPR動作	乍表示(常時:黒、動作時	: 橙)
7-SegLED 数值表示	計測値、整定値、他		
押釦スイッチ	試験動作スイッチ		,
Dig スイッチ		圧(%)整定/動作時間(s)整	
Dip スイッチ		自動/手動復帰,ロック解除時	
外形寸法		取付時のパネル面よりの高さ	
消費電力 AC110V		・動作リレー出力時:約5V	A
DC110V		動作リレー出力時:約4₩	
質量	継電器:約600g	クランプ型 CT:約60g	

^{*1}制御電源がDCは適用外。

4. 一般仕様 • 機能仕様

^{*2}既設定格二次出力AC5ACTの二次側にクランプ設置し電流検出する。

整理番号

2102-101c



5. 保護特性仕様

5. 1 地絡過電圧継電器(OVGリレー)

	項 目	仕 様
動(乍值 (%)	2-2.5-3-3.5-4-4.5-5-6-7.5-10-12-15-20-25-30%-ロック
動(作時間 (s)	0. 1-0. 2-0. 3-0. 4-0. 5-0. 6-0. 7-0. 8-0. 9-1-1. 2-1. 5-2-2. 5-3-5s
リ	レーロック	電圧入力形 入力電圧: A C / D C 1 1 0 V 共用
D	I 入力*2	A C 8 5 - 1 2 6 . 5 V , D C 7 5 - 1 4 3 V
リリ	v ー ロ ッ ク 解 除 時 間 ^{* 3}	遅延(1s)/瞬時(0.1s以下) 選択可
リ	レー用出力接点	無電圧1 c 接点 (復帰方式は、手動/自動復帰選択可)
保	動作值許容誤差	保護継電器と ZVT(ZPD-2 形)組合せ: ±25%
護	復帰値	動作値の80%以上
性	動作時間許容誤差	整定値の±5%(但し、許容誤差の下限値は±50ms)
能	復帰時間	200ms±50ms、但しmin1秒は出力継続
	温度特性	- 20℃~60℃において、20℃における値に対し
		動作値は±2 E % *4、動作時間は±5%の範囲のこと
	周波数特性	定格周波数の±5%にて、定格周波数における値に対し
		動作値は±2 E % *4、動作時間は±5%の範囲のこと

5. 2 逆電力継電器 (RPリレー)

-	項 目	仕 様
	用回路	3 Ф 3 W
	出方式	1 相設置検出方式
動化	乍電力 (%)	0. 2-0. 4-0. 6-0. 8-1-1. 5-2-3-4-5-6-7-8-9-10 % -ロック
動化	作時間 (s)	0. 1-0. 2-0. 3-0. 4-0. 5-0. 6-0. 7-0. 8-0. 9-1-1. 2-1. 5-2-2. 5-3-5s
リレ	ノーロックDI入力 ^{*2}	電圧入力形 入力電圧: A C / D C 1 1 0 V 共用
リレ	v ー ロ ッ ク 解 除 時 間 ^{* 3}	遅延(1s)/瞬時(0.1s以下) 選択可
リリ	ノー用出力接点	無電圧 1 c 接点 (復帰方式は、手動/自動復帰選択可)
СЛ	「,VTの二次負担	定格消費VAはCT1. 0VA, VT1. 0VA以下
保	動作値許容誤差	整定値の±10%(但し、許容誤差の下限値は±1.0W(5mA))
護	復帰値	動作値の80%以上
性	動作時間許容誤差	整定値の±5%(但し、許容誤差の下限値は±50ms)
能	復帰時間	200ms±50ms、但しmin1秒は出力継続
	温度特性	- 20℃~60℃において、20℃における値に対し
		動作値は±10%、動作時間は±5%の範囲のこと



- *2リレーロック入力端子に電圧を印加することで、OVGRとRPRは個別に動作ロックできます。
- *3リレーロックDI入力解除後にリレーロックを継続するタイマ時間を設定。
 - 系統連系開始時や受電時の系統電圧の電圧波形動揺等に起因する不要動作が懸 念される場合は、開閉器の 52-b 接点等と組合せ遅延 1 s に設定下さい。(7 項 図参照)

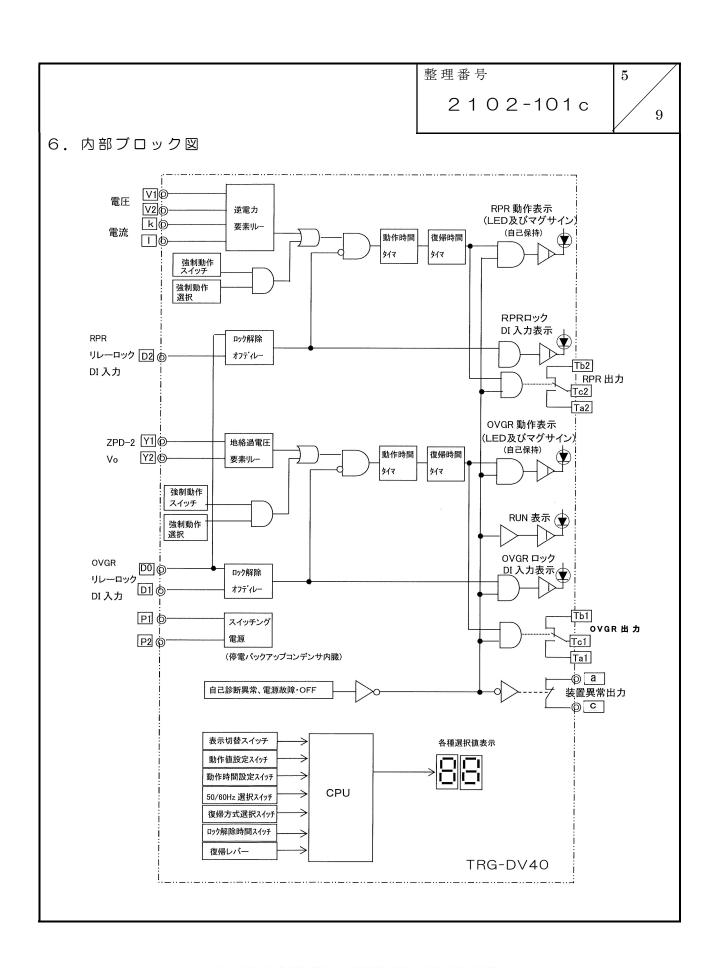
5. 3 出力接点、その他仕様

項	目		仕			様		
		閉路電流	DC110V	15A	DC220V	10A	L/R = 0 ms	
リレー出力技	リレー出力接点		AC250V	5 A	$\cos \phi =$	1.0	(抵抗負荷)	
			DC30V	5 A	DC110V	1.3A	(抵抗負荷)	
装置異常		開閉電流	AC125V	2 A	AC250V	7 1 A		
警報出力接点	7		DC30V	1 A	DC110V	0.3	A	
改制制作っ	強制動作スイッチ*5		地絡継電器トリップ出力、逆電力継電器トリップ出力					
短前動作へっ	1 ツ フ	を各々個別	川に強制出	力動	作させま	す。		
停電後の動作	乍補償時間*6	5 秒以上((制御電源	電圧	範囲下限	(AC85)	V)よりの停電)	
		①メモリラ	チェック	2) A / D 変	換精周	隻チェック	
 自己診断* ⁷	诊断* ⁷	③増幅回路チェック						
		④停電補價	賞コンデン	ゲ 労 容	量チェッ	ク(電	源OFF時)	
		⑤二重化!	リレー出力) 駆 動	回路自動	点検(24hr 毎)	

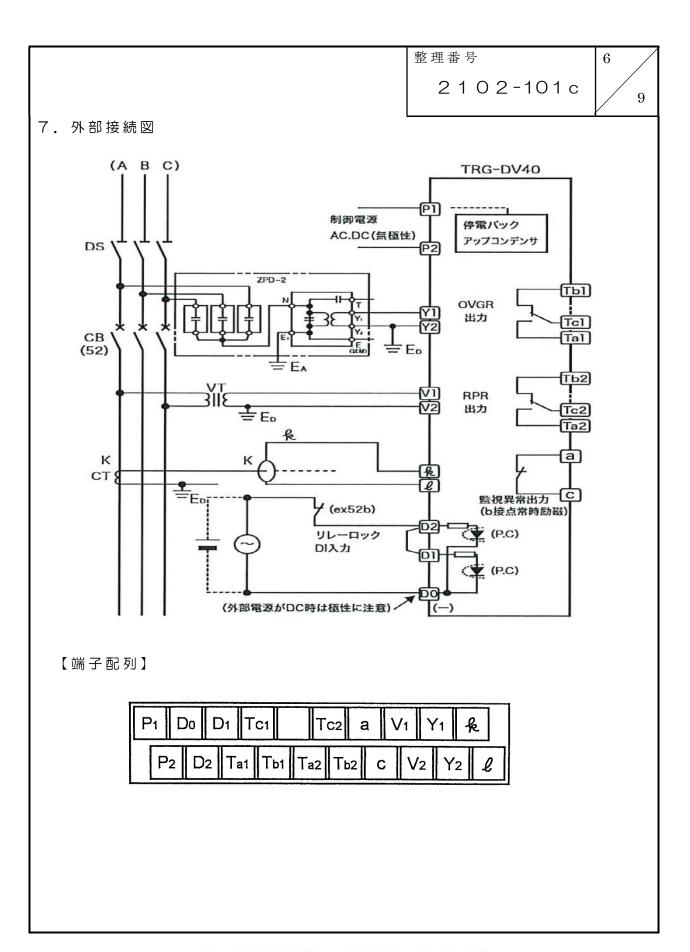
- * 5 誤操作出力を防止するため、表示切替選択スイッチで「OVGR 強制動作、また は RPR 強制動作」を選択した状態でスイッチを操作した時のみ、該当リレー接 点出力を行う誤操作防止機能を有しております。
- *6本器は商用電源が停電後も、内蔵したバックアップコンデンサにより、5秒間以上保護継電器としての動作責務が可能な設計としています。これにより、外部に電源補償装置等を別置しなくとも単独で系統連携規程を満足するものとなっております。(制御電源がDCは適用外)

参考 [系統連系規程 第2章 第2節 8.その他 (6)制御電源]

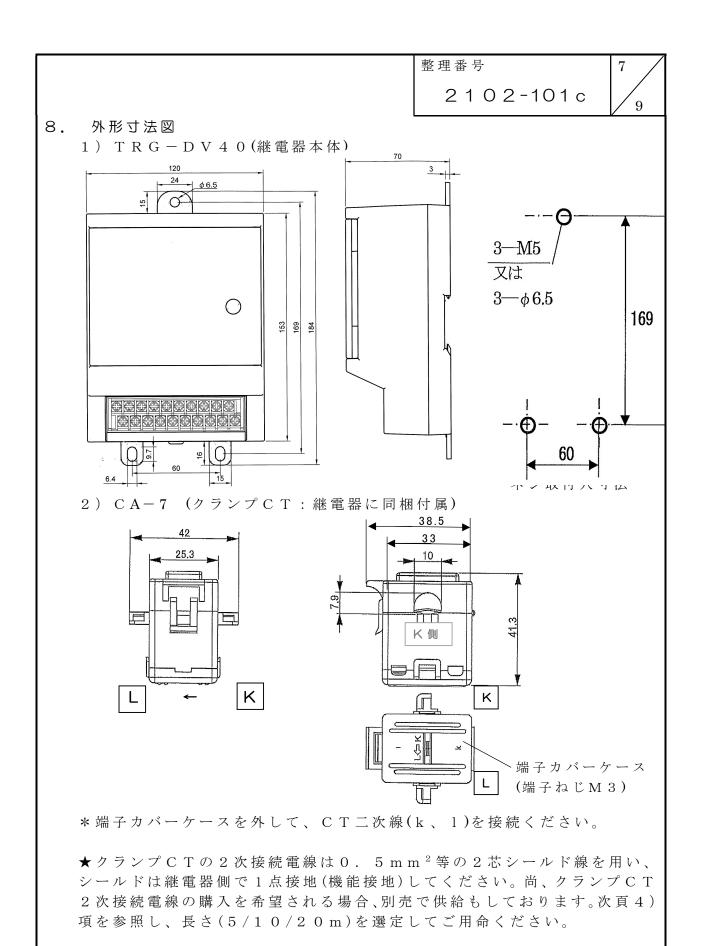
- b. 商用電源を使用する場合は、次の条件を満足するものとする。 (a) リレー自身に電源を必要とするものは 商用電源が停電後リレーの動作責務が確実に行えるように停電補償がなされていること。
- *7内部回路の常時監視・自動点検を組合せた自己診断により、万一の部品故障時の「リレー接点の誤出力防止」と装置異常出力・表示による警報により、運転信頼性向上を図っております。



泰和電気工業株式会社

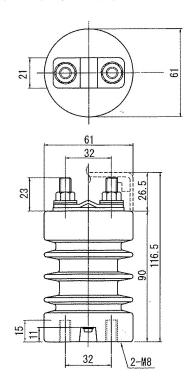


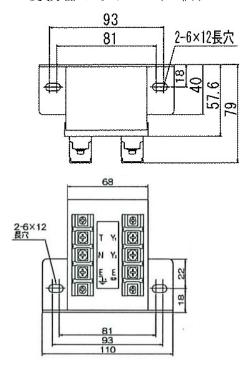
泰和電気工業株式会社



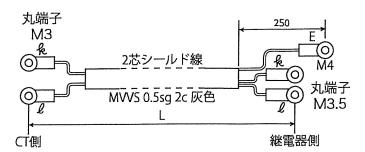
3) Z P D - 2 (零相基準入力装置:**別売**) 碍子(3個1組) 変換

変換器ボックス (1個)



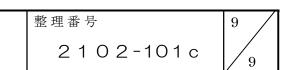


- ★ Z P D の配線は $0.75 \sim 2 \text{ mm}^2$ のツイストペアケーブル (又はビニル絶縁電線を 40 回/m 程度撚り合せ)とし、長さ 10 m 以内としてください。以上の場合 2 芯シールド線としシールドを継電器側で 1 点接地(機能接地)下さい。
- ★ Z P D 2 の試験端子(T-E)は、盤面に試験端子を設けて地絡過電圧 試験用にしておくと、定期点検時に便利です。
- 4) クランプ C T 2 次接続電線(2 芯シールド線・別売)



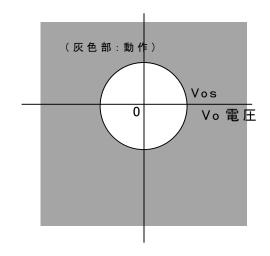
形式	[] L寸(m)
CA-7-L5	5
CA-7-L10	10
CA-7-L20	20

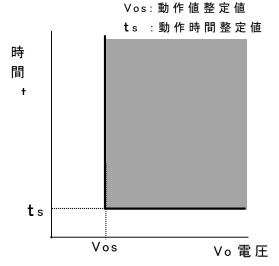
【補足】ZPD-2の配線長が長くなる場合の2芯シールド線として適用も可能です。この場合、CT線と間違えない様、区分して適用ください。



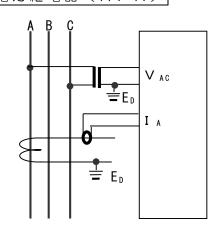
9. 保護特性図

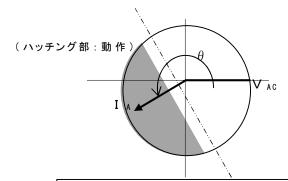
地絡過電圧継電器(OVGR)





逆電力継電器(RPR)





最大感度位相角:θ進み 210°

電力演算式:√3V_{AC}·I_Acos(θ-30°)

三相3線回路 1CT方式

【変更履歴】

1 久 入 极 显 1			
年月日	インテ゛ックス	変更内容	
2021. 9. 17	初版		
2021.10.14	a	端子記号 C1, C2→k, 1 変更、誤記修正	鹿野
2021.12.01	b	CT2次接続電線の記載、他を追記する。	鹿野
2022. 3. 30	С	復帰値 90%⇒80%に修正(誤記修正)	鹿野
	-		